

# 壁面アートとかかし



個性あふれるかかしたち

今回の珍百景は、神内地区にある壁面アートとかかしを紹介します。

「ンクリートの壁面」「ONE FOR ALL ALL FOR ONE 笑門来福」の文字が描かれています。この文字は高圧洗浄機で汚れた壁面を文字の形を残してきれいに洗浄する方法で描かれたそうです。

また家の周りには十数体のかかしが飾られています。これらのかかしは、塩パイプや単管、ペットボトルなどの廃材や学校から不要になったクラブのユニフォームなど、もったものを再利用して作られたそうで、一体個性あふれる作品となっています。

これらの素敵な作品を作られた檉山祐一さんにお伺いしたところ、「こんな時期だからこそ、通りがかってくれる人が少しでも笑顔になってくれたらうれしいと思って作りました」と話していました。

壁面の言葉通り、みんなの力でこの状況を乗り越え、笑顔と福が訪れる年になってほしいですね。

## — 珍百景を募集!! —

皆さんが見つけた珍百景を募集しています。「なんやこれ?」って思わず言ってしまうような、珍百景情報がありましたら、ぜひ役場企画調整課広報係(☎33-0334)までご連絡ください。お待ちしております。

# ゆきだるま

## 雪やこんこん

年末のある朝、嫁と4歳の娘が「雪が積もった」と言うので、外をしてみると屋根などこいつすらと雪が残っていました。

朝食をすませた後、雪が残っていないかと家族4人で車に乗って探してみると、田代の方では予想以上に雪が残っており、このあたりではあまりお目にかかれない雪景色に若干テンションが上がりつつ、小さな雪だるまを作り、雪遊びを楽しみました。

しかし、最初は楽しそうにはしゃいでいた娘ですが、徐々に口数が減ってきて、「早く帰りたい」と言い出し、もうじき2歳になる息子は「雪」がそもそも何かわかっておらず、雪を楽しむこともなく、終始ひたすら寒さに耐え忍んでいました(汗)

(結局一番楽しんだのは大人たち 愛野裕基)



家族で作った雪だるま

## 15周年を迎えて...

今回の特集では、新「紀宝町」となっている15年の歩みを年表と写真で振り返りました。みなさんも懐かしいと感じる写真や印象に残る出来事などはありましたか。おそろい、みなさんにとっても印象深いのは平成23年の紀伊半島大水害ではないでしょうか。

少し話は変わりますが最近、北松杖の方から「熊野川の上流から流れてきたお地藏さんを引き上げた」という電話を受け、現地に行き話を聞くと、おそらく紀伊半島大水害の際に流され、時間をかけ流れ着いたのではという話でした。改めて、台風の被害の甚大さを思い知らされた出来事でした。

(時が経つのが早く感じる 田中健太郎)



流れてきたお地藏さん



広報担当 田中健太郎



広報担当 愛野裕基